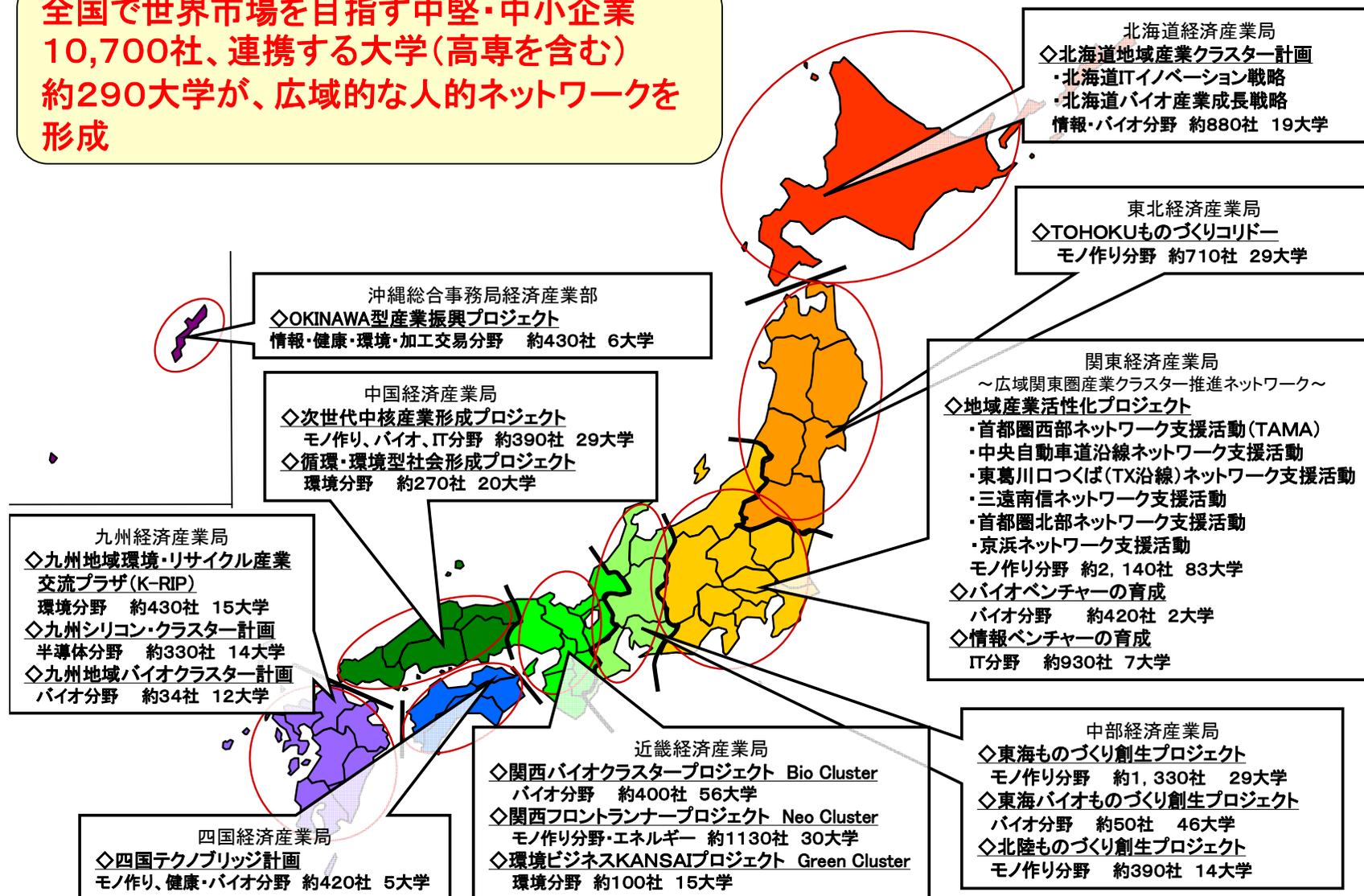


○産業クラスター計画(第Ⅰ期:H13~H17年度、第Ⅱ期:H18年度~)

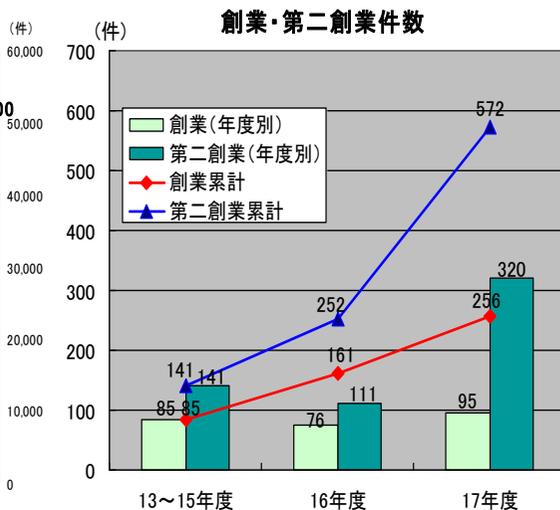
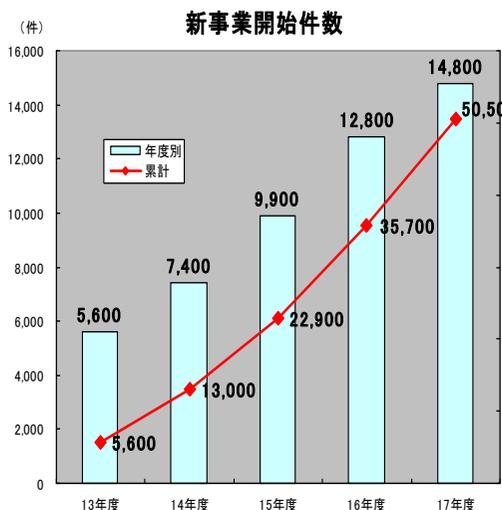
産業クラスター計画(第Ⅱ期) 18プロジェクト

全国で世界市場を目指す中堅・中小企業
10,700社、連携する大学(高専を含む)
約290大学が、広域的な人的ネットワークを
形成



○産業クラスター計画(第Ⅰ期:H13~H17年度、第Ⅱ期:H18年度~)

産業クラスター計画第Ⅰ期の成果



参画企業1社平均の売上・利益

2000年度 2005年度
 売上高 32億円 → 36億円 (4億円UP)
 利益 4,400万円 → 7,900万円 (3,500万円UP)
 (18年度モニタリング調査)

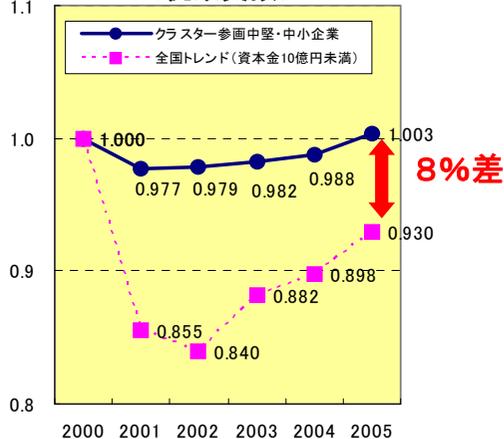
大学発ベンチャー

参画大学発VB 425社 (全体1503社)
 うちIPOした企業 11社 (全体16社)

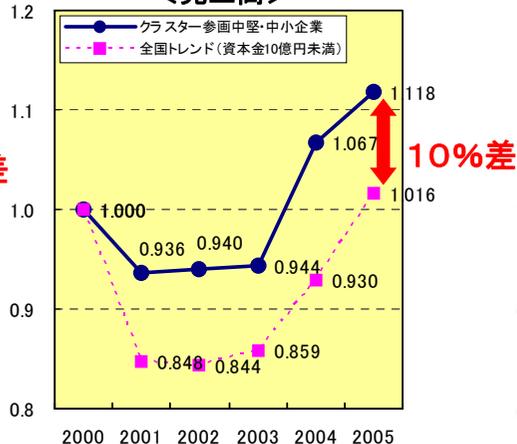
◎参画企業の業績の推移(大企業を除く)

参画企業の経営状況は全国平均を超えている

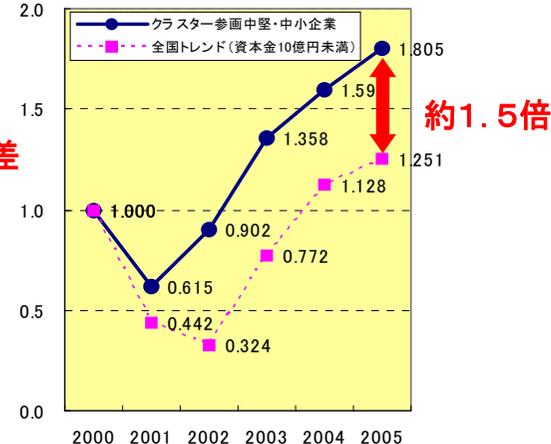
<従業員数>



<売上高>



<当期純利益>



注: クラスター参画中堅・中小企業は、5期連続でデータが取得できた企業のみを対象として集計。
 法人企業 統計年報の数値は、業種別構成比を産業クラスター計画参画企業と同じとして設定し、調整したものである。
 出典: 帝国データバンクCOSMOS2データ、財務省「法人企業統計年報」各年版

○科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成プログラム」(H18年度～)

地域再生人材創出拠点の形成(18年度予算額:5億円)

- 目的** 大学が有する個性・特色を活かし、将来的な地域産業の活性化や地域の社会ニーズの解決に向け、地元で活躍し、地域の活性化に貢献し得る人材の育成を行うため、地域の大学(又は地域の大学のネットワーク)が地元の自治体との連携により、科学技術を活用して地域に貢献する優秀な人材を輩出する「地域の知の拠点」を形成し、地方分散型の多様な人材を創出するシステムを構築する。
- 対象機関** 大学及び大学共同利用機関(地元の自治体との共同提案とする)
- 実施期間** 5年間(3年目に中間評価)
- 実施規模** 年間5千万円程度(間接経費を含む)

科学技術を活用した地域再生に資するため、地域の大学が地元自治体等と連携し、地域のニーズに即した人材創出拠点の整備を図る。

《科学技術を活用した地域再生人材創出拠点の例》

- ①地域の大学の個性を活かしたもの
地域発の新産業創出、地域の活性化等のための基盤を支える人材の養成等
- ②地域の特色を活かしたもの
防災、環境、地域医療、少子・高齢化等の地域の社会ニーズに対応した人材の養成等

地域の大学において、地元で活躍し、地域ニーズに貢献し得る優秀な人材を輩出する「人材養成ユニット」を設置

地域における科学技術システム及び我が国の人材創出システムの改革を推進

選定に当たっての要件

- ①地域の大学と地元の自治体(都道府県又は特別区を含む市町村)が共同で人材育成に取り組むものであること。
- ②特定非営利活動法人(NPO)や地域住民関係団体等を通じて、地域社会や地場産業のニーズを十分に把握した上でテーマを設定し、カリキュラムに十分反映させていること。
- ③地元の自治体や民間事業者等が、地域再生人材養成ユニットへ職員を派遣する、育成された人材を活用するといった具体的な裏付けがあること。

「地域再生人材創出拠点の形成」採択課題一覧

提案課題名	機関名	代表者名
FPD関連次世代型技術者養成ユニット	八戸工業大学	庄谷 征美
次世代金型人材育成拠点の形成	岐阜大学	三輪 貴
伝統技能と科学技術の融合による先進的ものづくりのための人材育成	京都工芸繊維大学	江島 義道
はまっぴデジタル・マイスター(HDM)養成プログラム	静岡大学工学部	中村 高遠
かごしまルネッサンスアカデミー	鹿児島大学	永田 行博
「食農の匠」育成プログラム	山形大学大学院理工学研究科	小山 清人
新時代工学的農業クリエイター人材創出プラン	北見工業大学地域共同研究センター	高橋 修平
ワイン人材生涯養成拠点	山梨大学	貫井 英明
先進・実践結合型IT産業人材養成	琉球大学地域共同研究センター	照屋 輝一
近江環人地域再生学座	滋賀県立大学	曾我 直弘

